

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第20回研修を開催しました！」

第20回の研修は、令和4年11月4日(金)、5日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義は、次年度の作付け計画、肥料の計算方法、前半の研修の振り返り②でした。

次年度の作付け計画では、連作障害を予防するため、同じ科の野菜を続けて栽培しないこと。日照条件や土壌水分、栽培適温などに留意して計画を立てることを学びました。

肥料の計算方法では、第3回研修で学んだ計算方法について、実習で栽培したさといもの施肥設計を用いて復習しました。

前半の研修の振り返り②では、前回に引き続き、「栽培暦」を使って、実習野菜の栽培管理の留意点などを振り返りました。

実習は、ねぎとにんじんを収穫し、その後、実習ほ場の秋じまいと、ハウス内で隔離栽培を

したトマトの片付けを行いました。

実習ほ場の秋じまいでは、畝を崩して整地したほか、電気牧柵を片付けました。

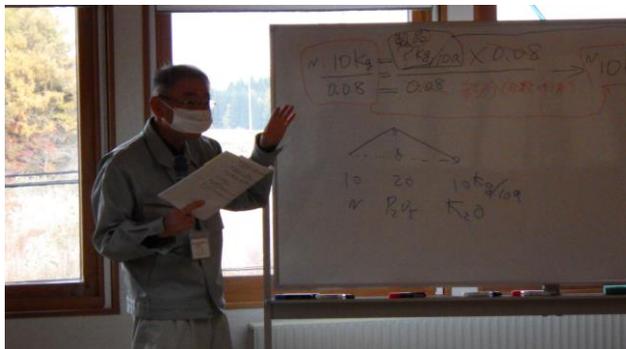
トマトの片付けでは、根が栽培槽全体に広がっていることや、吸収根がかん水チューブに沿って伸びていることを観察しました。

その後、剪定バサミを使って根元から切断して運び出し、たい肥の原料にしました。

また、ハウス内の自動かん水装置から水を抜く方法など、凍害対策についても学びました。

受講生から、「秋じまいをしながら、実習でいろいろな作物を作ったことを思い出しました。」との感想がありました。

第21回の研修は、11月18日(金)、19日(土)に、盛岡市勤労福祉会館で、農地法や農業経営基盤強化促進法など、農地や担い手に関する法令についての講義を行う予定です。



講義「肥料の計算方法について」の様子



トマトの根張りを観察する様子



ほ場を整地する様子



トマトの茎を根元から切る様子